

NEWS LETTER vol. 19 <2008年10月号>

■【トピックス】

経済も政治も先行き不透明です！



世界の金融市場は、崩壊の危機に瀕しています。昨年のサブプライムローン問題に端を発し、リーマンの破綻へ、もの凄い早さで階段を転げ落ちていきます。

ただ、これらのことは数年前から予見されていたことであります。

そうすると、陰謀論に与するわけではありませんが、危機は意図的に黙認されていたともいえます。

この危機にあって相変わらず、この国には政治が不在です。大丈夫でしょうか？

■【ビジネス・アイ】

会社法（その2）

社長 「花野さん、今度、製造部長を取締役に昇進させようと考えているところなんだよ」

花野 「そうですね。御社もいよいよ同族以外から取締役を選任しますか」

社長 「それでなんだけど、何か注意する点はあるかなあ」

花野 「そうですね。これからは他人が取締役になるのですから、特に適法に取締役会を開催する必要があります」

社長 「これまでもキチンとやっていたつもりなんだけどね」

花野 「そうですね。御社は取締役会設置会社ですから、最低3ヶ月に1度は取締役会を開催しなければなりません」

社長 「正式な取締役会かどうかは別にして、毎週取締役が何かの会議で集まっていたけど、それじゃやっぱだめなんだよね」

花野 「そのとおりです。キチンと招集手続きを踏んで開催する必要があります。それに監査役には出席義務がありますから、監査役にも連絡する必要がありますね」

社長 「なんだか面倒くさそうだね」

花野 「いえいえ、キチンとすることで、逆に取締役の責任を果たすことになるんですよ。後々問題が起きないように議事録も残して下さいね」

社長 「面倒だけど、キチンとやることにするよ。議事録も作ってね」

■【今月のキーワード】

取締役会議事録

会社法によると取締役会設置会社では、取締役会を3ヶ月に1回は最低限開催する必要があります。しかし、多くの中小企業では、現実には開催せず、登記上必要な時（役員改選時など）にだけ形だけの議事録を作成しています。

これは法律的に言えば、違法状態です。平時であれば問題ないかもしれませんが、いつ何時ことが起こるか分かりませんので、適法な状態にすべきです。できれば月次で取締役会を開催してキチンと議事録を残すようにしたいものです。

■【今月の1冊】

『ネコさまとぼく』

岩合 光昭 著

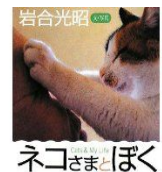
新潮文庫

¥500

経済も政治も大混乱しているこんな時期だからこそ、癒しの一冊をご紹介します。写真集だから読むのが苦手な人にもお勧めです。

ぼくは、どちらかという犬派なのですが、ときにはわがままなネコに付き合うのも良いかもしれませんね。

気がつけば、どこにでもいるのがネコですね。



新潮文庫

■【編集後記】

10月は、中小企業基盤整備機構さん主催の事業承継セミナーで講師を務めます。

ホームページも事業承継に焦点を合わせたものにリニューアルしました。是非ご覧下さい。しばらくは、このテーマに集中します。

『NEWS LETTER』vol. 19（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2008.10.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>